

近代建築と環境芸術の新たな出会い

加地邸 91年の時を経て、
造形家・伊藤隆道 動く彫刻とのコラボレーションが実現します。

加地邸と動く彫刻・伊藤隆道展

Kachi Residence and Takamichi Ito Exhibition : Kinetic Art Exhibition



造形家
伊藤隆道 TAKAMICHI ITO

東京藝術大学 名誉教授
環境芸術学会 名誉会長

1939年札幌生まれ。東京藝術大学卒業。「動く彫刻」の第一人者として、1968年第1回須磨離宮公園現代彫刻展で受賞。1974年須磨離宮公園現代彫刻展、1975年箱根彫刻の森美術大賞展で大賞、その他神戸須磨離宮公園現代彫刻展優秀賞など受賞多数。国内外に数多くのパブリックアート作品を設置。1993年東京藝術大学教授就任、副学長などを歴任。東京藝術大学奏楽堂にてオペラ、能楽などの舞台美術を手掛ける。2006年東京藝術大学名誉教授。現在は、東京・新宿と北海道・北広島市のアトリエを拠点に制作活動を行う。



加地邸 KACHI-TEI

建築家・遠藤新が設計した葉山の「加地邸」は、1928年（昭和3年）に建てられた別荘です。現存する遠藤新の住宅作品の中でも最も貴重な住宅とされています。

遠藤新は、フランク・ロイド・ライト（1867—1959）が「東京帝国ホテル」建設のため来日した折、1917年にスタッフとして関わり、竣工に至るまで主要な役割を果たしています。その後も「自由学園明日館」「旧山邑家住宅（現ヨドコウ迎賓館）」など、ライトが日本において設計にかかわった建築のすべてにおいて、設計から竣工までを実質的に支えました。遠藤新の建築は、F.L.ライトの影響を強く受けています。加地邸でも、地形に合わせて流れるような建築、家具、照明器具に至るまで、総合的に設計する「全一」という建築哲学をF.L.ライトから踏襲しています。

会場 加地邸

神奈川県三浦郡 葉山町一色 1706

TEL 070-3175-1781 / 044-211-1711 (株式会社ヨネヤマ unico)

【アクセス】

■公共交通機関の場合

JR 逗子駅 2 番バス乗り場京急バスにて 15分（1時間に5本程度）
「旧役場前」バス停下車 徒歩3分

〔逗子駅発バス系統名・行き先〕

逗2「葉山」行、逗4「大楠芦名口」行、逗5「横須賀市民病院」行
逗6「長井」行、逗7「佐島マリーナ入口」行き 逗8「電力中央研究所」行
逗71「佐島マリーナ入口」行、逗72「湘南佐島なぎさの丘」行

■お車の場合

横浜横須賀道路逗子1C～逗葉新道「長柄」交差点左折2.5km セブンイレブン右
※ 駐車スペースはありませんので、近隣のコインパーキングをご利用ください。

